

令和 7 年 9 月 19 日

報道関係 各位

田辺市消防本部
消防長 戎嶋 健

全国消防救助技術大会における梅干しの広報について

このことについて、令和 7 年 8 月 30 日に兵庫県で開催されました第 53 回全国消防救助技術大会において、当本部が熱中症対策に取り入れている梅干しを広報してきましたので、報道の方よろしくをお願いします。

当日の写真は、提供させていただきます。

【担当】

田辺市消防本部警防課 亀田（内線：66162）

TEL：0739-33-9069 FAX:0739-34-3134

E-mail:keibou@city.tanabe.lg.jp

全国消防救助技術大会における梅干しの広報について

1 目的

私たち消防職員は、火災、救急、救助現場など過酷な環境下においても、市民の生命、身体、財産を守ることが使命です。

火災現場では防火衣、救急現場では感染防止衣などを着用し、長時間活動することから、消防職員に熱中症対策は必須であり、田辺市消防本部では、数年前から熱中症対策の一環として、「梅干し」を携帯し、活動中に塩分を補給しています。

同じ状況である全国の消防職員にも熱中症対策の一つのアイテムとして「梅干し」の効果を知っていただきたいとの思いで、全国消防救助技術大会で梅干しの広報をさせていただきました。

2 広報活動

8月30日に兵庫県三木市の兵庫県立広域防災センター・兵庫県消防学校で開催された第53回全国消防救助技術大会において、田辺市消防本部職員と田辺市梅振興室職員が、紀州田辺うめ振興協議会から提供を受けた個包装タイプの梅干し3,000個を、大会出場者や来場者に配布しました。

配布の際には、田辺市消防本部では活動中にも熱中症対策のため梅干しを携帯していることやその効果を広報するとともに、田辺市が梅産地であることをPRしてきました。

今回は、全国大会ということもあり、全国各地からの大会出場者や来場者が訪れ、多くの方に梅干しのおいしさや効果を感じていただくことができました。

梅干しを食べた方からは、「個包装になっていて、持ち運びができるので、外出時の熱中症予防のアイテムとして使いやすそうです。」や「思っていたよりも食べやすく、おいしいです。」などとても好評でした。

